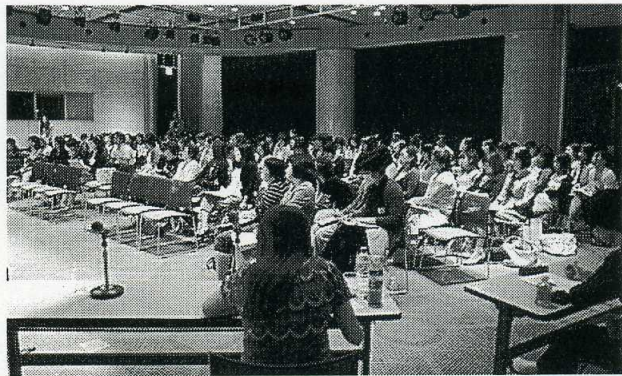


# ウチらのつながり、見直さへん?



一緒に  
いきまひよ  
ぼちぼちと



全体会のようす

第四七回民放労連「全国女性のつどい」が5月29日(土)に大阪で開催され、全国から民放各局で働く一、二三名が集まりました。スローガンは、「ウチらのつながり、見直さへん? 一緒にいきまひよ、ぼちぼちと」です。はじめに、米

澤飛鳥実行委員長が挨拶し、「インターネットやメールなどの便利なコミュニケーションツールが普及し、効率的・合理的になったが、人とのふれあいが希薄になり、孤立する人がいる現状もある」と報告。人とのつながりや、働きやすい社会をいま一度考え直そう、と提案しました。

続いて、女性協の西山麻衣子議長が、「職場で問題を抱える方、克服した方など、様々な経験・考えを持つ皆さんが出会ったことで、小さなつながりが大きな輪になり、放送業界で働く女性がイキイキと前を向いて進む方になれば幸いです」と挨拶しました。

琉球朝日放送労組から、「契約社員への向けた動き」について報告がありました。日々のニュース作りを契約社員中心に手がける中、賃金は出向社員の三〜五割。出向社員のボーナスとも大きな差があります。組合を結成して三年、正を求めていた中、昨年9月末に派遣元の会社の廃業をきっかけに正社員化運動を展開、10月に社員化を勝ち取りました。深田さんは、「これ以上ないうれしい知らせ。今回の経験をもとに、同じような境遇の人へ支援を行い、信頼されるニュース報道に貢献することをこれからの目標にしたい」と語りました。

続いて、女性協の西山麻衣子議長が、「職場で問題を抱える方、克服した方など、様々な経験・考えを持つ皆さんが出会ったことで、小さなつながりが大きな輪になり、

「来年4月に契約社員九人全員を正社員にする」という言葉を会社から引き出しました。QAB労組は、「系列局や業界内の厳しい目が、会社を動かす大きな支えになった」と、引き続き支援を呼びかけました。京都放送労組からも、派遣社員で報道力メラマンを務める深田実季さんが、正社員化交渉について説明しました。違法派遣状態の是

続いて、ノンフィクションライターの北村年子さんによる記念講演が行われました。子どもがなせいじめや暴力に走るのか、ご自身が長年携わってきた「ホームレス襲撃事件」の取材経験をもとに熱く語っていただきました。女性が大好きなスイーツを囲んでの交流会では、参加者が個別に情報交換を行いました。朝日放送、毎日放送労組のアナウンサーが

出題する「関西弁クイズ大会」も開かれ、和気あいあいとした雰囲気でした。

五つのテーマに分かれた分科会でも、活発な意見交換が行われました。

最後は、「人とのつながりの基本について改めて考え、これまで以上にコミュニ

ニケーションを大切にし、

問題や困難を乗り越えていこう」という大会アピールを確認し合い、つどいを終了しました。初めての一日開催でしたが、内容が盛りだくさんの会になりました。実行委員の皆様、大変お疲れ様でした。

# 働く女性のストレス

## コントロール

この分科会では、講師に

というものです。

夏目誠さん（精神科医、大

ほかに、「失

阪樟蔭女子大学心理学教

恋したときは、悲

授、産業医）をお迎えして

しい曲を聴くと気

「マスコミで働く女性のため

持ちが紛れる」と

めのストレス・コントロール

いう同質の原理が

ル」というテーマで、自己

あることや、「職

成長式エゴグラム診断を行

場のストレスはす

いました。人には三つの心、

べて半径5m以内

「親の心」、「大人の心」、

に存在する（二人

「子ども心」があり、その

間関係）」などの

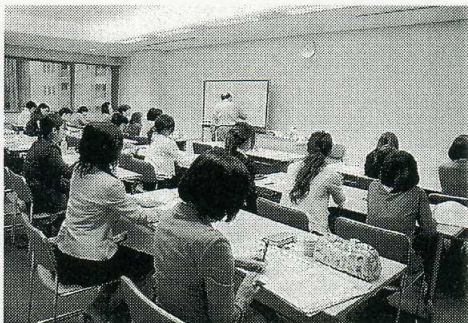
三つのバランスによって七

興味深い話、そし

つのパターンに分類される

て自律訓練法とい

うリラックス法も教えてい  
ただき、とても有意義な時  
間を過ごすことができました。



リラックス法も学んだ